



News Release

平成 30 年 6 月 22 日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 柳 正憲

(株) 渡辺リネンおよび (株) 和同に対し、 「DBJ BCM格付」に基づく融資を実施 ーリネンサプライ業で初めての格付取得ー

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）は、ワタナベグループのうちの株式会社渡辺リネンおよび株式会社和同（両社本社：新潟県長岡市、代表取締役：渡邊 泰崇）に対し、「DBJ BCM 格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ BCM 格付」融資は、DBJ が開発した独自の評価システムにより、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「BCM 格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

ワタナベグループは、明治 39 年に創業、クリーニングを端緒にリネンサプライやユニフォームレンタル等、「洗う」に関連した事業を展開してきた企業です。経営上のリスク管理の一環として BCP（事業継続計画）を策定し、防災および事業継続に向けた体制整備に取り組んでいるほか、東日本大震災発生時には国内の複数拠点で機能を代替しリネン商品を滞ることなく提供する等、サービスの安定供給に努めています。

今回の格付では、ワタナベグループにおいてリネンサプライ事業を担う株式会社渡辺リネン、エヌテーアクアツインズ株式会社および株式会社和同を対象とし、以下の点を高く評価しました。

- (1) 年に 1 回「ワタナベグループ防災の日」を開催し、グループ企業を含む全ての拠点における訓練・防災点検を実施する等、社長をトップとするグループ横断的な防災体制を構築している点
- (2) 生産拠点が分散している事業基盤を活かし、有事の際にはグループ内での代替生産を実施する等、早期復旧戦略を有している点
- (3) 主要取引先の BCP 策定状況を把握するとともに、調達リスク分散の観点から複数購買や在庫の持ち合いを実施し、サプライチェーン上の事業継続リスクの低減に努めている点

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、有事における事業継続や地域の成長に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

新潟支店業務課 電話番号 025-229-0711